

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

水道広域化

現段階での総事業費は

1119億円である

問 現段階での水道施設整備に係る事業費は、町長 補助期間である令和16年までの9年間で1119億円、年平均で約124億円を見込み、補助期間終了後の事業費は年109億円である。

答 事業の必要性と今後は、町長 現在、諏訪形浄水場から単線で千曲川左岸



ね づ ね 明子 議員

側を経由し、坂城大橋を通じ千曲川右岸側に給水している。台風や地震をはじめとする災害により落橋等の被害が生じた場合、右岸側の町民の約8割に水道水が給水できなくなる。更に、左岸側からはポンプにより加圧し送水しているが、停電発生時にも給水が止まる可能性を否定できない。

管路二重化が実施された際には、高低差を利用した自然流下による水運が可能となり、停電時においても供給の確保が見込まれることに加え、平常時においても自然流



中之条配水池

下式にすることで動力費の削減が見込まれる。災害時対応や効率的な水運用の観点からも、施設整備計画は当町において大きなメリットをもたらすものと認識している。今後も、安全で安心な水道水が安定的に供給できるよう、県企業局及び関係市とともにさらなる協議を進めていく。

質問項目

ね づ ね 明子 議員 10 ページ

- ① 水道広域化について
- ② 不登校対策について

つか だ 舞 議員 11 ページ

- ① 子どもが安心して成長できる環境を
- ② 地域福祉の充実に向けて

おお もり しげ ひこ 議員 11 ページ

- ① 戦後・被爆80年の想いは
- ② より充実した新複合施設のために
- ③ 有機農業の行方は

みず いで こう せい 議員 12 ページ

- ① 子育て支援について
- ② 創業者支援について

みや いり たけ し 議員 12 ページ

- ① 選挙に於ける投票状況について
- ② 森林整備について

ほし てつ お 議員 13 ページ

- ① 安心・安全の町づくりに向けて

なか むら ただ やす 議員 13 ページ

- ① 带状疱疹ワクチンについて
- ② 生命(いのち)の安全教育について

子育て支援

健やかな環境づくりを

さらなる充実に努める



塚田 舞 議員

問 今後、町における預かり保育の拡充の考えは。

子ども支援室長 令和7年度から「ベビシッター利用支援事業」を創設する。また、町社会福祉協議会で行っている「ファミリーサポートセンター事業」の利用促進に努める。

また、8年度には「子ども誰でも通園制度」など、多様化する保育ニーズに対する施策を総合的に実施し、子育て支援のさらなる充実に努めていく。

問 町が考える「子どもの居場所」とは。

町長 子どもは家庭を基盤としながら、地域や学校など安全・安心な環境の中で成長することが重要と考えている。特に、家庭以外でも安心して過

ごせる場所の確保は、健全な成長に不可欠と考えている。今後、整備予定の新複合施設も、世代を超えた健康・福祉・交流の拠点となり、新たな「子どもの居場所」として期待される。また、「子どもの居場所」は、子育て支援や健全育成の場であると同時に、共働き家庭の増加や地域のつながりの気薄化、家庭の貧困といった課題への受け皿としての役割も担うと認識している。

坂 城 町 第3期 子ども・子育て支援事業計画 (案)

令和7年3月

坂 城 町

町の未来を支える 子ども・子育て支援事業計画

平和を考える事業は

満蒙開拓平和記念館訪問など



おおもり しげのり 議員

戦後80年

問 昨年9月議会で「来年は戦後・被爆80年になる。年間を通して平和を考える年にするため、戦争体験者の聞き取りや講演会、広島での平和祈念式典に子どもたちを派遣すること、町内で原爆写真展や被爆者の描いた絵画の展示など、計画して

ほしい」と求めたが、どんな事業を考えているか。
教育文化課長 「ふれあい大学」の前期は「大人と子どもの社会見学会」として、阿智村の「満蒙開拓平和記念館」を訪問、後期の生涯学習講座でも平和学習を含めて検討する。

長野大学坂城町講座では、副学長と学生らと一緒に太平洋戦争での戦争遺跡等をバスで見学する予定。公民館報では、町の遺構や遺物等の特集、当時の戦争体験者の証言などを掲載する準備を進めている。



阿智村にある満蒙開拓平和記念館

図書館では、8月の終戦記念日に合わせて「戦争と平和」に関する書籍の企画展示、ふるさと歴史館では、8月に戦争関連の企画展、10月の図書館祭りでは、戦争関連の写真等の展示を検討している。

子育て支援

副食費支援のあり方は

幼稚園等施設に補助する



みずい こうせい 議員
水出 康成

問 町内幼稚園主体者との副食費無償化の意見交換の今後の展開は。

子ども支援室長 令和6年12月に意見交換を行った。7年度からは、町内及び町外の幼稚園等が保護者から副食費を徴収しない場合、副食費に係わる費用の3分の2を町が補助することにした。保育園と同じ国の定める公定

価格水準である。

創業者支援について

問 B・Iプラザ（以降施設）の状況と今後の創業支援向上やプロモーションに関しての考えは。

町長 施設は11部屋あり、インターネット環境、パントリーを備えている。平成14年の開館以来25事業者の利用があり3事業者が町内で事業所を開設した。利用者は、坂城テクノセンターをはじめとする支援団体や大学の専門的な技術支援を受けられる。利用者増加に向けたプロモーションとして、今後、県設置の信州スタートアップステーション、町が首都圏等で開催する移住・定住セミナーでの紹介や町内事業者へセカンドオフィス利用などをPRしていく。



創業者支援施設B.Iプラザ さかき

松くい虫対策は

被害軽減を図る

森林整備



みやい たけし 議員
宮入 健誠

問 町内の森林面積は。町長 令和6年9月1日現在で3597haで、国有林はなく全て民有林となり、県有林及び町有林、その他財産区を含めた公有林が450ha、私有林が3147haである。

問 松くい虫対策の状況は。

町長 松くい虫被害の発生を防ぐことを目的とした「予防対策」と、発生した被害を拡大させないことを目的とした「駆除対策」の両面から被害対策に取り組んでいる。予防対策では、風致地区など伐倒駆除が困難な地域を対象に、住民へのリスクコミュニケーションを図りながら有人ヘリ散布（上平地区15ha・荻屋原地区10ha）、無人ヘリ散布（荻屋原地区4.5ha）

を実施している。駆除対策としては、守るべき松林の被害木の伐倒燻蒸処理を実施している。

また、松枯れを引き起こすマツノザイ線虫の根系感染を防ぐため、町独自の対策として、伐倒駆除した木の根に薬剤を直接注入し、線虫を駆除することにより周辺への被害拡大を防ぐ対策を行っている。



松くい虫伐倒作業

防犯対策

防犯カメラの設置状況は

必要な箇所に設置している



ほし 星 哲夫 議員

問 町管理の橋は鼠橋、大望橋、昭和橋であり、大望橋は上平、網掛、上五明からの通学また中之条方面からの通勤に利用する重要な橋である。防犯の観点から防犯カメラの設置状況は。

町長 町は施設の管理運営上必要となる箇所に



町管理の大望橋

はカメラを設置し、運用している。また、千曲川の水位の状況などを監視するカメラが設置されており、千曲川の水位とともに、人や車両の往来を確認できる。

今年1月に起きたJR長野駅前殺傷事件の犯人逮捕には、付近の防犯カメラのほか、県警の呼びかけに応じて情報提供のあったドライブレコーダーの映像が大変大きな役割を果たし、それらの

映像をつなぎ合わせる「リレー捜査」により犯人の特定につながった。当町でも町内に設置している監視カメラのほか、消防団車両を含む公用車へドライブレコーダー設置を進めている。万が一事件が発生した際には早期解決の一助になるものと考えている。何より、地域ぐるみで犯罪を未然に防止する取り組みが最も大切であると考え、取り組んでいる。



▲広報さかき4月号5ページ「带状疱疹予防接種」をご覧ください

問 坂城町の小中学校での実施状況は。

教育長 小学校では、保健授業で心の発達、発育の学習に加え、各校で外部講師による性教育・命の授業を実施。中学校では、そのほか外部講師による性教育、情報モラル、犯罪防止啓発に取り組んでいる。

問 定期接種化となるワクチンの開始時期・接種内容は。

町長 今年の4月1日から、65歳以上5歳ごとの対象者と、免疫機能に重い障がいがある60歳から64歳の方を対象に実施する。

ワクチンの種類は、生



なかむら ただやす 中村 忠靖 議員

ワクチンと不活化ワクチンの2種類である。自己負担額は、接種費用の概ね25%から30%程度、対象者数は1060人程度の見込みである。

問 周知方法、接種の手順（申請方法）は。

町長 4月初旬に、対象者全員に接種の案内を通

带状疱疹

65歳以上5歳ごとの対象者に

費用助成対象は

知し、「広報さかき」への掲載や、町ホームページで広く周知する。手順は、接種希望者が直接予約を行い、案内通知の「带状疱疹予防接種予診票」と「予防接種済証」を医療機関に提出し、接種を受ける。

いのちの安全教育